

担当講座	法科学講座 法医学分野	問合せ先	法医学分野
分野責任者	高宮 正隆 教授	連絡先	内線 5682
担当教員	高宮 正隆 教授		
人材育成の 基本理念	法医病理学、法医中毒学などに関する専門的知識を有し、法医解剖を遂行できる人材の育成する。		
主な研究内容	損傷・窒息・異常環境死・内因性急死等の病態生理に関する免疫組織化学および分子生物学的手法を用いた研究。法医解剖に結びつく実験が望ましい。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	法医病理学に関する基礎研究、症例研究を行う能力を身に付けるとともに、自ら研究課題を立案し課題を解決できるようになる。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー、法医病理学実験1～4	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、法医病理学実験1～4	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、法医病理学実験1～4	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる(英文が望ましい)	特別研究ⅠⅡⅢ、法医病理学実験1～4	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、法医病理学実験1～4	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)論理的な法医病理診断法を習得する。	法医病理学講義1～3	
	(8)法医解剖に必要な手技を習得する。	法医解剖修練	
	(9)免疫組織学的・分子生物学的実験を遂行できる。	法医病理学実験1～4	
(10)法医病理学的実験を遂行できる。	法医病理学実験1～4		
資格取得等	日本法医学会法医認定医		
履修に関する 情報	入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論(2単位)」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特論	1年	講義 法医病理学講義1	通年	30	4	20単位	
	2年	講義 法医病理学講義2	通年	30	4		
	3年	講義 法医病理学講義3	通年	30	4		
	4年	演習 法医解剖修練	通年	30	4		
	1年	実験 法医病理学実験1	通年	15	1		
	2年	実験 法医病理学実験2	通年	15	1		
	3年	実験 法医病理学実験3	通年	15	1		
	4年	実験 法医病理学実験4	通年	15	1		
特別 研究	2年	特別研究Ⅰ(初期審査)	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究Ⅱ(中間審査)	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ(論文作成)	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

法医病理学

コード	MD13111010				MD13111020				MD13111030				MD13111040			
科目	法医病理学講義 1				法医病理学講義 2				法医病理学講義 3				法医解剖修練			
科目責任者	高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆			
担当者	高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆			
会場	法医学分野実習室				法医学分野実習室				法医学分野実習室				法医解剖室			
区分等	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年30コマ	配当年次	3	回数	通年30コマ	配当年次	4
主な授業内容	初歩的な法医病理学				基本的な法医病理学				専門的な法医病理学				法医解剖手技			
教育成果	専門書により法医病理学を学び、損傷、窒息、異常環境死、内因性急死等に関わる病態の初歩的な部分を説明できる。				専門書により法医病理学を学び、損傷、窒息、異常環境死、内因性急死等に関わる病態の基本的な部分を説明できる。				専門書により法医病理学を学び、損傷、窒息、異常環境死、内因性急死等に関わる病態の専門的な部分を説明できる。				法医解剖症例を通し、法医解剖に必要な手技を習得する。			
SBO	分野の達成目標 7				分野の達成目標 7				分野の達成目標 7				分野の達成目標 8			
特記事項	<p>各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。</p> <p>「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。</p>															
評価方法	<p>【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。</p> <p>【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。</p>															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MD13111050				MD13111060				MD13111070				MD13111080			
科目	法医病理学実験 1				法医病理学実験 2				法医病理学実験 3				法医病理学実験 4			
科目責任者	高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆			
担当者	高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆				高宮正隆			
会場	法医学分野実習室				法医学分野実習室				法医学分野実習室				法医学分野実習室			
区分等	区分	実験	単位	1	区分	実験	単位	1	区分	実験	単位	1	区分	実験	単位	1
	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2	回数	通年15コマ	配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4
主な授業内容	初歩的な法医病理学実験手技				基本的な法医病理学実験手技				専門的な法医病理学実験手技				専門的な法医病理学実験手技			
教育成果	実験動物、試薬の扱いなど、初歩的な法医病理学実験を遂行できる。				基本的な法医病理学実験を遂行できる。				免疫組織化学的、分子生物学的手技を用いて専門的な法医病理学実験を遂行できる。				免疫組織化学的、分子生物学的手技を用いて専門的な法医病理学実験を遂行できる。また結果を学会、論文等で適切に提示できる。			
SBO	分野の達成目標 1, 2, 3, 4, 5, 9, 10				分野の達成目標 1, 2, 3, 4, 5, 9, 10				分野の達成目標 1, 2, 3, 4, 5, 9, 10				分野の達成目標 1, 2, 3, 4, 5, 9, 10			
特記事項	<p>各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。</p> <p>「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。</p>															
評価方法	<p>【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。</p> <p>【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。</p>															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●各科目の授業計画

コード	MD13119010				MD13119020				MD13119030							
科目	特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ				特別研究Ⅲ							
科目責任者	各(正)指導教員				各(正)指導教員				各(正)指導教員							
担当者	各指導教員				各指導教員				各指導教員							
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定							
区分等	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	2				
	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4				
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終審査の準備 							
教育成果	<p>生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><初期審査>2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>				<p>生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><中間審査>3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>				<p>生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終審査に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p><論文作成>4年次12月までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。</p>							
S B O 目 標 達	分野の達成目標 3, 4, 5, 6				分野の達成目標 3, 4, 5, 6				分野の達成目標 3, 4, 5, 6							
特記事項	初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。											
評価方法	①受講票 ②初期審査結果				①受講票 ②中間審査結果				①受講票 ②学位申請論文の提出							
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

●時間割

法医病理学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00		法医病理学講義1~3	法医病理学実験1~4			
3 限	13:00~14:30		法医解剖修練	特別研究 I~III			
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00		法医病理学講義1~3	法医病理学実験1~4			
3 限	13:00~14:30		法医解剖修練	特別研究 I~III			
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						